

FADO

3

Setembro 1994

月田秀子ファド倶楽部

TSUQUIDA HIDEKO FADO CLUBE JORNAL

昨年の8月4日の近鉄アート館でのコンサートを機に発足した月田秀子ファド倶楽部が一周年を迎えました。3月の発足会、会報「FADO CLUBE JORNAL」の発行と小さな足跡が残っているだけで、会員のメリットは？と問われると、ちょっと辛いものがありますが、せめてこの会報「FADO CLUBE JORNAL」の内容をもっと充実させ、会員相互の意見・情報交換の場にしたいと切望しています。心に残った事、誰かに伝えたい事、心にひらめいた事など聞かせてください。そういう事って、そのつどメモをしておく事。忘れられた大切な思い付きが闇の中で泣いています。

ファド倶楽部入会の案内を出したところ、大学時代の友人から、手紙がきました。「…さて、倶楽部入会のお誘い二度も頂きましたが、その意思はありません。だいいちそのような所に自分がいるのかと思うとゾッとしません。陰ながら応援するというのがダンディというものでしょう。というよりは、軟骨化した日本および日本人のありようが無性に情けなく腹立たしく哀しくすらあるのです。最早ひとりで生き続ける勇気を失ってしまったのでありましょうか。…幸か不幸かあなたには光が当たってしまいました。そのことをどう考えているか知りませんが、わけもなくただただひとりの人としてとぼとぼと生きている人たちがたくさんいることを想いながらそこにいることを祈ります。」

Aさん、それは誤解です。若かったあの頃からすると、尖鋭さから遠ざかっているかもしれない。けれど決して一人で生きる勇気を失くしたわけでも、光の当たった道を歩いているのでもありません。むしろその正反対の生き方を選んでることを解って下さい。そんなわたしの不器用で、妥協性のない生き方に声なき声で応援してくれている人でファド倶楽部は成り立っているとわたしは信じているくらいです。だからわたしは歌いつづけることができるのだと。ファド倶楽部は、そこいらにある商業ベースのった歌手のファンクラブとは違うのです。

手前味噌になるかも知れませんが、最近いただいたお手紙の中でとても力づけられた一文をご紹介します。「…『お金をもってしまえばできない仕事』というのがあるんだなあということをおもいました。月田さんの清里でのコンサートを聴きながら…。…月田さんの歌を聴き、FADO CLUBE JORNALを読みますと、豊かになりすぎた社会のなかで、自分自身を成長させ、鍛えるためには敢えて苦境からの出発しか現在はないのかなあと思ってしまいました。「一本の旗となりえぬ一行の詩が さむざむとわがうちに立つ」(道浦母都子) この歌のように、月田さんは吹きっさらしの中ですぐれて耐えている数少ない歌い手だとおもいました。…」

(山梨県・K氏)

去年の12月14日に亡くなった愛犬ルナの初盆を、写真の前に大好物だったリングとソーセージと赤いバラの花を一輪飾って迎えました。私を生んでくれた父や母のこと、遠い先祖、もっと昔、お魚だったころ、微生物だったころ、アミノ酸だったころから複雑に絡まりあい、綿々と連なってきたこの命、私という存在に思いを馳せた時、生まれてこのかた出会った人達に一愛したり、憎んだり、ひっかいたり、つねったり、名前も忘れてしまった、もしくは知らないまま通り過ぎていったすべての人達に「ありがとう」と大声で叫びたくなったのです。涙がぼろぼろ出て止まらなく、そんなままで、近しい友に電話をしました。「出会ってくれてありがとうね。生きていてくれてありがとう。」相手は、「何をいまさらどおしたの？」鳩に豆鉄砲の呈、いささか混乱気味やら、気味悪いやら。

地球より重い一人の命 逆立ちしてみる

月田秀子

ficção

読切連載

秀子のエピソード帖

その2

秀子さんからの

暑中見舞い

内間 天馬

信じられない猛暑の先日、秀子さんから暑中見舞いのハガキが届きました。手書きなので個人的なものでしょうけど、彼女には内緒で、ファド倶楽部の皆様にご披露致します。

♪暑中お見舞い申し上げます♪

酷暑が続いています。お元気？生きてますか？避暑に何処かへ？不況でそれどころじゃない？なるほど。ところでわたくし、いよいよ明日夏のバカンスに出発いたします。毎度のことだけど、今回もやはり相当ゴージャスな旅になるみたい。

予定では、南太平洋のタヒチに3週間滞在の後サモアに2週間、その後アカプルコで1週間、そして、やはりポルトガルに寄らねばね…、アマリアの別荘で優雅に過ごし、クソ熱い日本の夏など忘れるつもりよ。それと、タヒチのリージェントホテルのプールサイドテラスで、真っ赤な南太平洋の夕日を見ながら、冷たいビールや吟醸酒を飲むの。あらっ、私の憧れの人、ジェームス・ディーンがすぐ目の前で泳いでいるわ。あらいやだ、私を見て手を振ってる、投げキッスも。(ポッ!)クロールのフォームが、特にプリプリのお尻がとてもセクシーだわ。あらっ、背泳に変えたわ。胸毛もステキ!な〜んちゃって。飛行機はすべてファーストクラス、ホテルもすべて超一流、しかもスイートルームなので、総費用約七百万円はかかるみたい。まあ、一年に一度のことだし、この程度なら贅沢とは言えないわよね、ハッハッハッ。お土産どっさり買って帰るからお楽しみに!大阪の暑い夏、おきばりやっしゃ〜。 バァ〜イ!…てな暑中見舞いを一生に一度は出してみたいわね。現実には、トホホ〜ッ!

1994年猛夏

秀子

ドテッ!とベッドから落ちたところで目が覚めました。手にしっかりと握りしめていたのは、ハガキじゃなくてウチワ。寝苦しい猛暑の夜は、夢もけったいなものを見るようで…

< 94年度会費納入のお願い >

昨年8月4日の近鉄アート館におけるコンサートを機に発足した「月田秀子ファド倶楽部」、8月末日現在、268名の方々のご入会をいただいています。皆様のファドへの熱い想い、月田秀子の歌手活動だけでなく、生き方への叱咤激励の数々によって、精一杯歌い続けております。本当にありがとうございます。正直のところ、事務局と言っても私の住まい兼用、もちろん今のところ諸々の事はすべて私自らが処理している次第で、歌い手としての活動、マネージングと平行しての仕事は、結構きついものがあります。でも、いろいろ活動してゆく中で、少しずつ道は開けてゆくだろうと信じています。今後とも一層のご支援、ご協力をお願い致します。

当倶楽部は、9月から翌年8月までを一会計年度としています。新年度の年会費3000円を同封の振り込み用紙にて郵便局からお払い込みくださいますようお願い申し上げます。

1993年度 ファド倶楽部会計決算書
(1993.9 ~ 94.8)

< 収入の部 >

入会金 536,000
年会費 804,000
カンパ 95,000

< 支出の部 >

通信費(電話・郵送料) 418,139
名簿管理費(ワープロラベル・用紙他) 38,390
印刷費(案内状・封筒・会報、コピー他) 172,066
什器備品助費(書類箱・書棚) 75,784
練習補助費(スタジオ代・打合せ・採譜代) 89,485
振込手数料 13,560
雑費(発会式赤字充当金) 32,791
次年度繰越 594,785

計 1,435,000

計

1,435,000

〈ファドとの出会い〉

人生とは、運命がなみなみとつがれている盃である
(ブラックロック)

人は大人になればその顔に責任を持って、とはしばしば言われることである。たとえ美男美女に生まれてこなくても、それなりに味のある顔と人となりを自分の汗と涙でつくり上げ、味付けしてゆくことは可能であり、単なる美人では、じっと見つめていてもいずればあきられ、年と共に衰えてゆくものである。(とそこまで言えば無いもののネタミかイヤミに聞こえるかも…)

しかし自分の力ではどうしようもない運命を享受せざるを得ないことも度々あるのも否めない。飢えのため手の施しようもなく死んでゆく子供達、街をさすらう身も心も飢えたホームレスの人たち。その元はと言えば、自然のもたらす脅威であったり、人間の醜いエゴであったり様々である。

この運命と称されるファドとひょんなことで出会ってまだ一年半しか経たないのだが、ますます深みに落ち込んでいきそうになっている。もう何十年も前、貸して貰った一枚のレコードが私に与えた時のショックが、久し振りに甦ってきた。ジョン・バエズの歌が従来の音楽への意識を変えた。唄はプロの作詞家、作曲家、歌手の分業であった筈が、自分の心を自分の声で、拙いギターで表現する道を開いたシンガーソングライターは今や当たり前となり、音楽性も驚くほどの水準に達して、プロとアマを区別する線引きもない。世の中のことが判ってきて、その矛盾に抗うすべもなかった私にとって、手作りの唄は大事な発露となり、今に至っている。フォークに始まり、ジャズ、ブルース、レゲエとあらゆる音楽を耳にした。

四年前、祇園祭の宵山の日に急死した母は、じゅんさいの様だね、と私を見事に言い当てた。居るのか居ないのか、さっぱりわからない、つかみどころのない子供だったのだろう。こんな性格と相まって、本や音楽の好みもマイナーで、注文しないと手に入らないことが多い。ついでにタバコの話をする、今でこそ軽い銘柄が流行しているから自動販売機でも入手できるが、私の好みのテンドーとパートナー(このパートナーはいつしか消えうせてしまう)は、パチンコ屋の景品はおろか、タバコ屋にもない時があった。



テレビ番組ロケ
USEN "PIANO BAR"



リスボンで歌う
Casa de Fado LIT

マイナー嗜好(及び、指向)の私が、まだかなりマイナーなファドと出会ったのも単なる偶然とは思えない。五木寛之が本でユパンキを絶賛しており、前々から南米の音楽にも心を弾かれていた私だが、店頭で民族音楽コーナーに立ち、彼のCDのほかに、もう一枚買おうと思って手にしたのが、アマリアのCDだったという訳だ。何の前知識もなく、帯に書かれた言葉にひかれて一まぎれもない本物の歌。重く深い感動と至福のひとつとき、以来新聞で日本にもファドを歌う人がいることも知り、何がなんでも駆けつけたい。そんな想いで今日まで来て、私の期待を裏切るところか、心のよりどころとして私の胸に君臨している。

リサイタルホールへかけつけた時、座る席もなくびっくりした。こんなにファドを愛する人がいるなんて思いもしなかった。嬉しいようで、内心あまりメジャーにならないで欲しいなどとこっそり思っている。東京で活躍している香川さんは月田さんとは毛色が違って、情念のようなものを感じさせる。

人生には二つの悲劇がある。とB. ショーは言いました。願いを達し得ぬ悲劇と、達してしまった悲劇。叶わぬ夢があった方が良さそうです。唄を通して素晴らしい時を共有できる事が嬉しくて、私のともすれば萎えがちな心もコンサートの度に力を貰い、又歩こうかという気になれる大切な時もあります。マイナーであることを大事にする余り、生活を守るのも大変でしょうが、燗を焼く煙の向こうにいるファドをこよなく愛する人たちのことを想って頑張ってください。万が一唄以外の事をせざるを得なくなったとしても、魂だけは売らないで下さい。

もっとファドが歌える人が出現すればと期待しながら、ファドの足元にも及ばない拙い歌を作っては、早く月田さんのように歌いたいと焦る(?)私です。毎月のコンサートを楽しみにしています。帰宅後もその余韻で眠れず、詩が浮かんでくるのですが、私の歌作りもファドの影響を受けているのがわかります。秀子さん、いつまでも燗の臭いのするファディスタでいてください。辞書や会話の本を買ったのに変化が余りにも多くて手のつけられないファドのファンより。

ファドに、ファド倶楽部に乾杯!

京の女 Ren OKAMOTO

informação

< 月田 秀子のスケジュール >

★毎週木曜日 心斎橋・「麓鳴館」 ☎06-241-9219
①7:30 ②9:00
ライブチャージ: 2,000円
ギターの池側忠さんとの息のあった生音ライブ。
地下鉄・「心斎橋」から徒歩1分の小さな喫茶
店です。お気軽にお立ち寄りください。
なにやかやと飲食できます。
(注) 9月15日、10月27日はお休みです。

★12月7日(水) 午後7:00開演
大阪フェスティバル・リサイタルホールでのコンサート決定!
チラシ・チケットができ次第ご案内します。

9月20日(火) 松原市・布忍神社「観月祭」
ポルトガルギター: 佐野健二 / ギター: 池側忠

9月26日(月) 心斎橋・「アートクラブ」
☎06-253-0827
ポルトガルギター: 佐野健二 / ギター: 池側忠
①8:00 ~ 3回ステージ(入れ替えなし)

9月30日(金) 京都/四条河原町・「巴里野郎」
☎075-361-3535
ポルトガルギター: 佐野健二 / ギター: 池側忠
①8:00 ②9:00 ③10:00

10月7日(金) 尼崎/塚口・「園田学園女子大学」
ポルトガルギター: 佐野健二 / ギター: 池側忠
整理券申し込み先: 06-429-1201
(大学エクステンションセンター中野氏)

10月21日(金) 大阪/上六・「アッコルド」
☎06-773-3110
アコーディオン: 吉川肇 / ギター: 池側忠
①7:30 ②8:30 ③9:30

10月23日(日) 京都/長岡天神・「昂」
☎075-953-1035 (要予約)
ポルトガルギター: 佐野健二 / ギター: 池側忠
7:00 ~

10月28日(金) 京都/四条河原町・「巴里野郎」
☎075-361-3535
ピアノ: 河村真千子 ギター: 池側忠

10月31日(月) 大阪/心斎橋・「アートクラブ」
☎06-253-0827
ポルトガルギター: 佐野健二 / ギター: 池側忠

< 大阪日本ポルトガル協会設立のお知らせ >

昨年は日本とポルトガル両国の友好450周年に当り、全国的にいろいろの記念の催しがありました。これを機会に、市民レベルでの友好親善を図るために、大阪日本ポルトガル協会が設立されました。ファド倶楽部の発会式の時、発起人代表として感動的な乾杯の挨拶をしてくださった大阪ポルトガル名誉領事である稲畑勝雄氏によびかけによるものです。ファド倶楽部としても、共に協力し合い、有意義で楽しい事を計画していければと意気込んでいます。ご入会ご希望の方は、下記まで直接お申し込み下さい。

「大阪日本ポルトガル協会」

〒542 大阪市中央区南船場1-15-14 堺筋稲畑ビル
TEL(06)267-6090 FAX(06)267-6042

編集後記 極暑、猛暑、烈暑、激暑、稀暑、暑い夏、残暑お見舞い申し上げます。お元気にお過ごしと拝察します。投稿に感謝しています。蚊もいない、草木も枯れる夏でした。水が心配ですね。涼しい季節発行の第4号を楽しみに。(Y)

- 会報編集スタッフ募集!!!
若老男女は問いませんワープロ打てる方特に歓迎します。お手伝い下さる方事務局に連絡下さい。お待ちしております。
- 原稿募集!!! 長短を問わず!
テーマ自由、ファドと関係なくても、投稿は事務局まで。

編集・発行 「月田秀子ファド倶楽部」事務局
〒542 大阪市中央区高津3-14-8-1001 TEL.FAX.06-645-4717